

第14回新潟出版文化賞 表彰式 & 記念講演

12月14日(日)

13:30~15:40

観覧無料
・要申込

新潟県立図書館ホール

(新潟市中央区女池南3-1-2)



選考委員長 藤沢周氏

1 表彰式



- 大賞** 「新潟県戦後五十年詩史 - 隣人としての詩人たち」 鈴木 良一
藤沢周賞 「『僧侶日日』橘 芳園歌集」 橘 芳園
文芸部門賞 「押し里のこと、語ってもいいですか？」 今野 直倫
記録誌部門賞 「越後煙火史 -150年の記録-」 長谷川 健一

2 受賞者の声

3 藤沢周氏による講演

佐渡の世阿弥が伝えしもの一 『世阿弥最後の花』

藤沢周 (ふじさわしゅう)

新潟市出身。1998年『ブエノスアイレス午前零時』で第119回芥川賞受賞。能の大成者・世阿弥の、佐渡での晩年を描いた著書『世阿弥最後の花』を基に講演いただきます。

お申込方法 (先着160名)

【専用フォーム】二次元コードを読み込んで専用フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

【メール・電話】以下の項目を御連絡ください。

住所 (市町村まで)・氏名・電話番号

※メールの件名は「新潟出版文化賞表彰式&記念講演 参加申込」としてください。

【お問合せ先】

新潟県観光文化スポーツ部文化課芸術文化振興室

TEL:025-280-5139

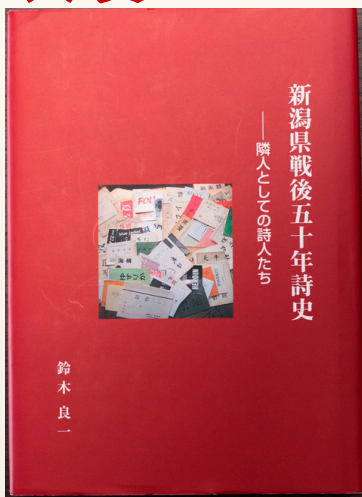
e-mail : ngt150030@pref.niigata.lg.jp



受賞作品紹介



大賞



「新潟県戦後五十年詩史 - 隣人としての詩人たち」

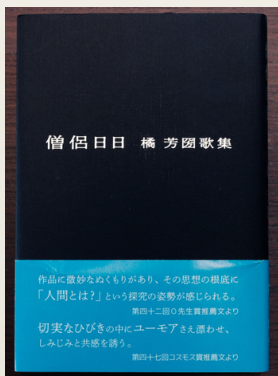
鈴木 良一

戦後50年間にわたって、県内で発行された膨大な詩の雑誌や同人誌などに細かく目を配り、それらを詩の歴史として資料化した熱意に感服した。

(選考委員：池田 哲夫)



藤沢周賞



「『僧侶日日』橘 芳園歌集」

橘 芳園

この歌集は「私小説」として読むことができる。

「私小説」を辞書的に言うと「作者自身の生活や体験、心境をありのまま書くことによって、人間の真実を追求しようとするもの。」歌人は、僧侶と高校教師の二足の草鞋の中で、祖父母、父母、同僚、教え子などのことを、誠実に歌い上げている。

(選考委員：若月 忠信)



文芸部門賞

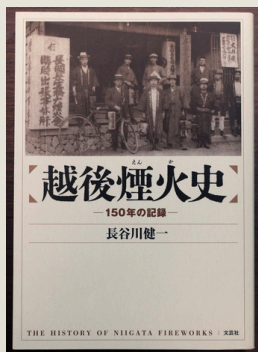


「押し里のこと、語ってもいいですか？」今野 直倫
ふるさとでもない糸魚川の街にやってきて、あふれるばかりの愛を注いで暮らす日々を綴る。こんな“押し里”の人がいるからこそ地域の活性化が育まれるんだと思う。

(選考委員：佐藤 和正)



記録誌部門賞



「越後煙火史 -150年の記録-」

長谷川 健一

戦前、「煙火」と称した花火。長岡、片貝、柏崎、新潟をはじめ県内各地の花火の歴史を著した大作。花火記念館をも開設した著者の情熱は読み手を魅了する。(選考委員：大田 朋子)

■選考委員

委員長： 藤沢周 (作家)

選考委員：池田 哲夫 (新潟大学名誉教授)、大田 朋子 (エッセイスト)、佐藤 和正 (フリージャーナリスト)、花ヶ前 盛明 (居多神社宮司)、本間 由美子 (フリーライター)、若月 忠信 (文芸評論家)

■主催：新潟県 ■後援：新潟県教育委員会、新潟日報社、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、日本経済新聞社新潟支局、スポーツニッポン新聞社新潟支局、共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、新潟県印刷工業組合、新潟県グラフィックサービス工業会、新潟県書店商業組合、NPO法人日本自費出版ネットワーク